

第3回ロス・リオス州国際週間への特別招待国としての参加 および浜野龍峰氏による書道事業

2024年10月25日

10月11日から13日にかけて、ロス・リオス州バルディビア市において、第3回ロス・リオス州国際週間が開催され、日本は、本年、特別招待国として参加しました。

11日に行われたオープニング・セレモニーには、伊藤大使が着物姿で出席し、特別招待国代表としてのあいさつにおいて日チリ、日本とロス・リオス州の歴史的な友好関係について強調したほか、チリ初訪問となる書道家の浜野龍峰氏が書道デモンストレーションを行いました。



オープニング・セレモニーの様子



伊藤大使によるあいさつ



ロス・リオス州に贈呈された浜野氏の作品

バルディビア市サバル公園内の会場には浜野龍峰氏の大型作品を多数展示し、会場内は迫力ある書で彩られたほか、たくさんのスタンドが出展し、3日間の開催期間中、延べ3万5,000人が訪れ文化交流を楽しみました。また、浜野氏は、「書の心」と題したレクチャー・デモンストレーションおよびワークショップを行い、文字の持つ力や手で書くことの重要性を伝えるとともに、平和や命の大切さに関するメッセージを発信し大変好評を得ました。



サバル公園内の会場



会場内を飾った浜野氏の作品



大型デモンストレーション



ワークショップでの作品を手に記念撮影



また、ロス・リオス州国際週間後、サンティアゴ市において、サンティアゴ大学（USACH、10月15日）、チリ・カトリカ大学オリエンテ・キャンパス（16日）、国立図書館（17日）でも書道デモンストレーションおよびワークショップを行いました（合計500人以上が参加）。

浜野氏は、レクチャーにおいて万葉集の和歌や特攻隊のパイロットが筆書きで残した手紙などを紹介しつつデモンストレーションを実施し、たくさんの参加者から質問やコメントが寄せられました。



USACH でのレクチャー・デモ



満員となったカトリカ大学講堂



国立図書館でのレクチャー



USACH でのワークショップ



国立図書館でのワークショップ

今回の浜野氏のチリ初訪問および書道事業の実現にあたり、多大な支援を得たロス・リオス州政府、チリ文化・芸術・遺産省、カトリカ大学、サンティアゴ大学、国立図書館、国際交流基金、その他ご協力いただいた全ての関係者の皆さま、そして浜野龍峰氏とご一行に感謝申し上げます。



同行した宇佐見かづ江さんと深井淳平さん



バルディビア日本文化クラブのメンバーと